



みやま

真庭市立木山小学校だより

R4年度 第6号

令和4年 6月1日(水)発行

3年生「野鳥観察」

5月17日(火)2・3時間目、市環境課出前講座「野鳥観察」を3年生が受講しました。本校では、毎年3年生が参加させていただいています。この日はお天気に恵まれ、スズメやツバメといった身近な鳥をはじめ、約11種類の野鳥を見つけたり、鳴き声を聞いたりすることができました。

講師の「落合野鳥の会」宮林さんのお話の中で、食べ物となる生き物を通して、鳥も人間もつながっているということをお聞きし、改めて野鳥を通して身近な自然について考えることができた時間となりました。



体育委員会主催「的当てヒット大会」

5月17日(火)5時間目、投力向上を目的の1つとする体育委員会主催の今年度第1



回目の「的当てヒット大会」を開催しました。なかよし班でチームをつくり、台の上に4つずつ積まれた段ボール箱の「的」を目がけて球を投げ、時間内に落としたりした的の数を競います。段ボールの中にはおもりが入っているので、勢いよく球を当てないとびくともしません。低学年も高学年も、力いっぱい球を拾っては投げ、拾っては投げしていました。

昨年度は、新型コロナ感染拡大を考慮して実施しなかったのですが、今年度は試合の前後に全員手指消毒をすることと、待機場所を分散させること、体育館を全開にして行うこと等の感染対策を講じながら、実施しました。

1・2年生にとっては初めての活動でしたが、「おもしろかった」「楽しかった」という感想がたくさん聞かれました。今後も継続して取り組み、子どもたちの投力向上につなげていきたいと思っています。



6年生「お茶摘み体験」

5月18日(水)、6年生が五向園さんの茶畑でお茶摘み体験をさせていただきました。

茶畑から見下ろすと、備中川の対岸にはすがすがしい緑の山に抱かれるように立つ校舎をはじめ、下方地区を一望することができました。「茶つみ」のBGMが流れる中、みずみずしく輝く新芽を約30分かけて摘みました。

その後は、摘んだ茶葉を持って製茶工場へお伺いし、茶葉を加工していく工程を見せていただいたり、殖産興業として発展した地域の茶葉生産の歴史を教えてくださいました。工場を辞する前には、淹れたての煎茶を飲ませていただき、大満足で



帰校しました。新茶の時期で大変お忙しい中を、時間を割いて子どもたちに話をしてくださり、本当にありがたく感じました。

プール掃除がんばりました！

5月23日(月)、プール掃除を行いました。低学年はプール周辺の草取り、高学年はプールや更衣室の掃除に加え用具等の準備をしました。大変暑い日で、水分補給をしながら、みんながんばって仕事に取り組みました。特に高学年は、頑固な汚れを粘り強く落とそうとしたり、濁った水がかかるといわず、一生懸命排水作業に取り組んだりするなど、自分の役割を果たそうとする姿が多く見られ、大変頼もしく感じました。



掃除後、少しずつ注水を開始し、1週間かけて満水となりました。先日新しくしていただいたろ過機も作動し始め、プール学習の準備が整いました。プール開きは6月7日(火)です。水着等の準備を大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

第1回学校運営協議会を開催しました

5月24日(火)、今年度第1回目の学校運営協議会を開催しました。従来の学校評議員会から変わって学校運営協議会を設置したことにより、今後は学校運営協議会委員さんを中心に、地域や保護者の方からのご意見を集めつつ、学校運営への支援についてご協議いただいでいくこととなります。

今年度の学校運営協議会委員は、右の方々です。

No	役職等	氏名
1	副会長 明日の木山学区をつくる会 会長	妹尾 直之
2	会長 落合野鳥の会 代表	宮林 英子
3	民生委員・児童委員	西山 定明
4	学識経験者(元中学校教諭)	林 聡志
5	人権擁護委員	守城久美子
6	木山小学校 PTA会長	宮本 和哉
7	木山こども園 後援会長	中島 良彦
8	木山小学校 校長	水田 文子
9	木山小学校 教頭	神戸 親

この日は、初回の協議として、めざす児童像と重点取組項目を次のように決定しました。

○R4年度「めざす児童像」

「ふるさとを愛する子どもの育成」

○重点活動項目(めざす児童像の実現のために取り組むこと)

<学校で取り組むこと>

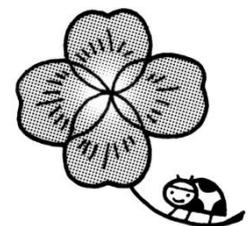
生活科や総合的な学習の時間を中心として、地域学習に取り組む。

<地域で取り組むこと>

地域学校協働本部を実働させる。

<家庭で取り組むこと>

木山や地域のことについて親子で話をしたり、地域の行事に参加したりする。



これを受けて、ご家庭におかれましては、木山学区や地域の歴史やよさなどについて親子で話をする機会をもったり、一緒に地域に出かけてみたり、地域の行事に参加したりといった取組をしていただくと、大変ありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。